

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在ニュージーランド大使館

記入日 平成 26 年 8 月 26 日

1. 現地の建設工事に係る経済情報

●建築許可数（2014年6月）

2013年6月～2014年5月までの建築許可数（金額ベース）

- ・総数 134億ドル（対前年比21%増）
- ・住宅 88億ドル（対前年比27%増）
- ・非住宅 46億ドル（対前年比11%増）

http://www.stats.govt.nz/browse_for_stats/industry_sectors/Construction/BuildingConsentsIssued_HOTPJun14.aspx

2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

なし

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙
1	<p>\$850m Transmission Gully project gets green light</p> <p>NZ交通局（NZTA）とウェリントン・ゲートウェイ・パートナーズ（東京三菱UFJ銀行を含むコンソーシアム）は、トランスミッション・ガリー高速道路の契約を締結。</p> <p>http://www.stuff.co.nz/motoring/news/10326165/Ball-gets-rolling-on-Transmission-Gully</p> <p>※同種の記事</p> <p>Ball gets rolling on Transmission Gully</p> <p>※NZ政府発表</p> <p>http://www.beehive.govt.nz/release/transmission-gully-2020-great-news</p>	<p>2014/7/29</p> <p>Dominion Post (Web版のみ)</p> <p>2014/7/30</p> <p>Dominion Post</p>

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

■ コンベンションセンター地区の優先交渉権者の選定（クライストチャーチ）

8月7日、ブラウンリー・カンタベリー地震復興担当大臣は、クライストチャーチ中心部再開発のアンカープロジェクトのひとつである「コンベンションセンター地区」の優先交渉権者を選定した旨を発表した。

開発業者に選定されたのは、Plenary Conventions New Zealand というコンソーシアムで、国際的なインフラ会社の Plenary Group、地元企業の Ngai Tahu Property と Carter Group で構成される。

また、コンベンションセンターの運営者として Accor を選定した旨も発表した。

<http://www.beehive.govt.nz/release/convention-centre-developer-and-operator-revealed>